

# 学習指導案(特別支援教育)参考例

## 〇〇〇学習指導案(各教科、自立活動等)

※特別支援教育の学習指導案には、一人一人の児童生徒の実態に即した、個々の目標、活動及び教師の支援等を明記することが大切である。

〇ここで示したものは、参考例の一つである。

令和 年 月 日( )第 校時  
〇〇〇学級(〇年〇組) 指導者 〇〇 〇〇

### 1 単元名(または題材名)

〇学級の名称を記載する。

〇複数の時は T1 〇〇 〇〇  
T2 〇〇 〇〇

- ①児童生徒の視点に立った表現を工夫する。
  - ・活動がイメージしやすいような表現
  - ・活動の意欲が高まるような表現
- ②教科書の章や節を単元(教材)名とすることもある。  
(例)単元名「相手にわかりやすく伝えてみよう」(自立活動)や「かぞえてみよう」(算数) など  
教材名「カードを使って漢字をつくってみよう」(国語)

### 2 単元について(または題材について)

#### (1) 児童生徒の実態

〇単元(教材)観、児童生徒の実態、指導観の順に記述することもあるが、特別支援学級においては児童生徒の実態から教育課程の編成の際に作成した指導計画を元に単元(教材)を設定するため、**児童生徒の実態から書き始めることが望ましい。**

#### (2) 単元(教材)観

- 【児童生徒の実態】
  - ・人数、特性、単元(教材)に対する興味・関心や経験など、児童生徒の実態を記述する。
- 【単元(教材)観】
  - ・設定した単元(教材)の意義や単元(教材)に対する考え、単元(教材)におけるねらいなどを明確にする。

#### (3) 指導観

- ・**自立活動では、実態と「個別の指導計画」、自立活動の内容(6区分27項目)との関連を踏まえて記述する。**
- 【指導観】
  - ・児童生徒観や単元(教材)観の関連から**有効な指導の在り方**を考え、指導方法や学習活動を明確にし、指導をする上での留意点や教師の対応の工夫、手立てや方法、学習環境などについても記述する。

### 3 単元の目標(または題材の目標)

- ①本単元(教材)の学習を通しての全体の指導目標を**学習集団全体と個別の両面から記述する**。実態によっては、個別の目標のみの場合もある。
- ②単元の目標を一文で示す場合と資質・能力の三つの柱に即して三つの文章で示す場合もある。
  - (1) ~することができる。(知識及び技能)
  - (2) ~することができる。(思考力、判断力、表現力等) ※国立教育政策研究所や県教委の参考資料を参考にする。
  - (3) ~しようとする。(学びに向かう力、人間性等)
- ③**自立活動の目標は三つの柱では整理されていない。また、自立活動の指導が、各教科等において育まれる資質・能力を支える大事な役割を担っていると捉え、目標を設定すること。また、選定した自立活動の内容(6区分27項目)を【例3-(4)】のように記述する。**

### 4 人権教育との関連

〇単元の目標、学習内容と本校における人権教育の「育てたい資質・能力等」(知性・判断力・感受性・技能・実践力)との関わりについて記述する。

### 5 学校課題との関連(研究学校等においては、研究主題との関連)

- ①学校課題(研究主題)との関連がある場合には、学校課題(研究主題)に迫るための授業の組立や指導の重点などを単元(小単元、又は題材)レベルで記述する。その際、研究の内容に即して記述することが大切である。
- ②教科ごとの課題(研究テーマ)がある場合は、それぞれの課題との関連で記述することも考えられる。

### 6 単元の指導と評価の計画(〇時間扱い 本時〇/〇)

- ①年間指導計画の下に、単元(教材)の目標(ねらい)を踏まえて単元(教材)全体を見通し、指導する内容と時間数を明記するとともに、本時の位置付けを明確にする。
- ②本時に関わる場所は、具体的な計画を示し、本時の前後にどのような指導をするかが明らかになるように記述する。

| 時     | 主な学習内容・学習活動   | 評価規準 |   |    |
|-------|---|------|---|----|
|       |   | A児   | B児  | C児 |
| 1～3   | ○単元の主な学習内容・学習活動を説明する。                               |      |   |    |
| 4～7   | ○目標達成のために、単元（題材）の全体の主な学習内容や学習活動の流れが明確になるように簡潔に記入する。 | ◎    | ○評価規準には、次時に向けて「指導に生かす評価」と、単元（題材）の学習の評価として活用する「指導に残す評価」が分かるように記載する<br>○「個別の指導計画」に基づき、「単元の目標」に対して、児童生徒のどのような姿が見られれば、「おおむね満足できる」と考えるのかを具体的に記入する。 |    |
| 8～12  |   | ◎    |   |    |
| 12～14 |   | ◎    |   |    |

※◎：記録に残す評価

## 5 本時の指導

### (1) 題目（題材名、または教材名）

○「6 単元の指導と評価の計画」との整合を図る。

### (2) 児童生徒の実態と個別の目標・評価規準

#### ①全体目標

○.....することができる。

○集団に関わる目標となる場合には記述する。

#### ②個別目標

|    | 児童生徒の実態 | 個別の目標 | 評価規準 |
|----|---------|-------|------|
| A児 |         |       |      |
| B児 |         |       |      |
| C児 |         |       |      |

○「個別の指導計画」の目標とのつながり（整合性）を意識しながら設定する。  
○自立活動では、選定した自立活動の内容（6区分27項目）を【例3-（4）】のように記述する。  
○単元（題材）の個別目標との整合性を図る。

○個別の目標達成が確認できる具体的な状況（行動）を分かるように記述する。

### (3) 学校課題（または研究主題）に関わる授業の視点

○本時において、学校課題（研究主題）との関連がある場合には、学校課題（研究主題）にどのように迫るのかを記述する。その際、課題解明の手立てや研究の内容に即して記述することが大切である。

### (4) 人権教育の視点

○本時の目標（ねらい）、学習内容や指導方法と、「育てたい資質・能力等」との関わりを記述する。ここでの視点が、展開の「人権教育上の配慮」において具体的な記述となる。

### (5) 展開（次頁参照）

①縦版でも横版でよいが、個別の支援の手立てを指導上の配慮事項に明確に記述する。

②TTの場合は、役割（T1・T2等）を明確にして記述することも必要である。

### (6) その他

○学校課題や研究内容及び教科等の特性などを踏まえ、必要に応じて、板書計画、発問計画、場の設定、教材・教具、環境整備の工夫、ワークシート（別紙）などの項立てをして、記述することも考えられる。

### 【参考資料】

- ・「特別支援学級及び通級による指導 教育課程編成の手引き」 H31.2, H22.2 栃木県教育委員会
- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 R02.3 国立教育政策研究所
- ・「新学習指導要領に基づく指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料 R02.7 小学校 R3.1 中学校 栃木県教育委員会